

不来方美術

Koz-Art

2015/07/31

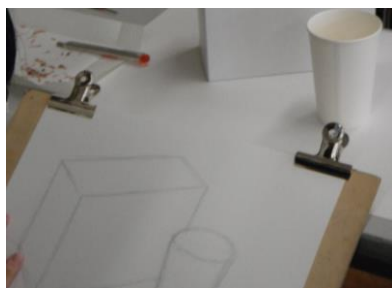
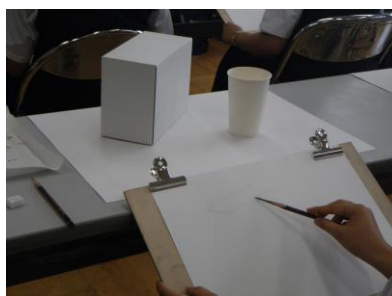
No22



広報紙【コズアート】

01

第1回中学生デッサン講習会終了



鉛筆を削ってさあ描こう。最初は、鉛筆を斜めに持って、筆圧弱く全体のあたりを取ります

7月28日[火]の不来方高校学校説明会にあわせ第1回中学生デッサン講習会実施しました。県内各地から21名の中学生を迎え、今回は、画用鉛筆の削り方、構図の取り方、形の取り方を学習し、紙コップと紙直方体の2つを題材に、八つ切り画用紙に、4BとHの2種類の鉛筆をつかってデッサンをしました。

まずは、鉛筆を削りウォーミングアップ。カッターを使って、普段より鉛筆の木部も多く削り、少し寝かせて描く練習をしました。それから、画面に題材を描く「大きさ」と「位置」を検討し、「構図」について考えました。次は形の取り方。鉛筆を使って、紙コップの縦横比を計ります。大まかなプロポーションを計測し形の「あたり」をつけていきます。今日のデッサンポイントはここまで。この後形を修正しながらトーンをのせて、少し立体感の表現を体験しました。

02

絵画パネル製作開始！



ベニヤと角材を仮止めし、同じ大きさのパネルを重ねて、机やブロックをおもりにして圧着します。

美術・工芸コースの生徒の多くは、美術部・工芸部に所属し、コースの専門の授業選択と部活動での制作を連携させています。たとえば美術・工芸コースの絵画専攻の生徒は、美術部で油彩の大作[F50～S100号]制作に取り組んでいます。授業の中では、F10～15号の制作が中心になりますので、放課後の部活動は、授業で考えた制作意図や習得した絵画技法を大作で時間をかけながら実践確認してく絶好の機会です。

そこで1年生が大作を描くためパネル製作の開始です。耐水ベニヤを各自描きたい寸法と比率を選択し製作をはじめます。ベニヤを切断。角材を辺にあわせ切断。木工ボンドで接着、圧着します。それから、アクリル系の地塗材で地塗りを施します。絵画の完成イメージや技法の選択が決定している場合は、やすりがけをして平滑な画面を作ったり、マチエールを作ったりします。…さあ描こう！